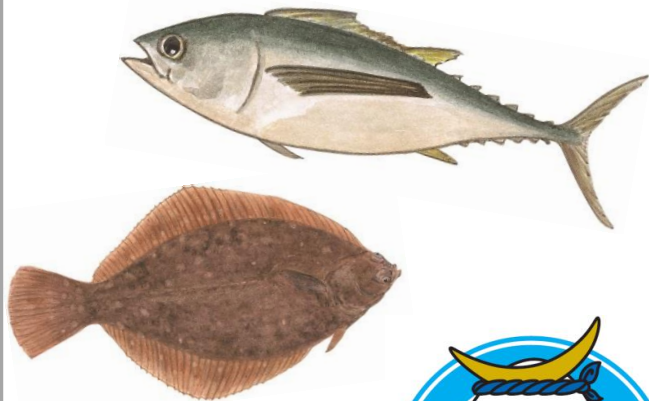


## 今月号の元気な話題

- \* 農業者が設立した会社「大郷グリーンファーマーズ」  
～経営理念は環境保全型農業の実践～【農業振興部】・・・1
- \* 「SNSの活用など効果的なPRによる観光客誘客促進」  
観光セミナーを開催!【地方振興部】・・・2
- \* 仙台地域の沿岸地においてマラウイ共和国との技術研修を  
実施しました!【農業農村整備部】・・・2
- \* 『仙台・松島エリア』夏休みお出かけキャラバンを開催  
しました!【地方振興部】・・・3
- \* みんなの森林づくりが進んでいます!「みやぎ海岸林再生  
みんなの森林づくり活動」【林業振興部】・・・3
- \* 大規模な栽培ハウスが完成!「松島とまと」を世界へ!  
【農業振興部】・・・4
- \* アカガイの稚貝を育成しています。【水産漁港部】・・・4
- ★「第1回季節の食材・物産一押しフェア」のお知らせ・・・5
- ★「仙山交流味祭inせんだい～秋の恵み～」のお知らせ・・・5

今月のおすすめは…  
マグロ(9月)  
マコガレイ(10月)!



## 農業者が設立した会社「大郷グリーンファーマーズ」

～経営理念は環境保全型農業の実践～

【農業振興部】



認証作物(ねぎ)の生育状況を確認する  
郷右近社長(左)と職員

**大**郷町にある「有限会社 大郷グリーンファーマーズ(郷右近 秀俊社長)」は、約50haの田畑で米、約50種類の野菜と鶏卵の生産を行う農業法人で、あいコープみやぎや外食産業等に販売しています。前身は農産物直売組織 大郷みどり会(約30人)で、当時としてはまだ珍しい有限会社として平成11年に設立。経営理念は環境保全型農業の実践で、化学肥料・農薬の使用の節減や作物自身の持っている力を活かす栽培により、カエルやとんぼ、ホタル等で溢れる豊かな農業・農村を取戻そうと努力しています。

その一環としてみやぎの環境に優しい農産物認証・表示制度の発足当初から認証を取得し、1社で仙台地方振興事務所管内の全認証面積169haの3割を占めています。また、有機JASの認定やエコファーマー、JGAP指導員資格を取得し、作付前の土壌分析や自家製ボカシ肥・生物農薬の使用に積極的です。

オンラインショップでは、米の品種や栽培法をオーダーメイドで個人でも購入できるそうです。皆様もいかがですか?

# 「SNSの活用など効果的なPRによる観光客誘客促進」 観光セミナーを開催！

【地方振興部】

7月1日より、仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーンや仙台空港の民営化がスタートし、国内外から多くの観光客が訪れることが期待されています。旅行客自体はSNSを活用した情報収集が増えており、いかに効果的に情報発信し閲覧いただけるかが課題となっています。

こうした背景から、地方振興部では、平成28年7月12日、東北歴史博物館を会場として、宿泊・交通業者や各市町村観光振興担当等を対象に観光セミナーを開催しました。

「SNSの活用など効果的なPRによる観光客誘客促進」をテーマとして、一般社団法人南三陸町観光協会総務企画部門チーフ 伊藤 聡 様から事例発表をいただきました。グーグルアナリティクスの活用によりSNSを見ている人を分析し、傾向と対策を図ることや、SNS更新の際の協会内統一ルールを作る対策等、より効果的に情報発信するノウハウを学ぶことが出来ました。



事例発表の様子

## 仙台地域の沿岸地においてマラウイ共和国との技術研修を実施しました！ 【農業農村整備部】

宮城県ではJICA（独立行政法人国際協力機構）と「みやぎ国際協力隊プロジェクト」の実施に係る合意書を締結し、平成22年度よりアフリカ・マラウイ共和国へ農業水利分野の現地活動支援を行っており、平成23年度からはマラウイ共和国からの技術研修生の受入れも実施しています。

今年度も7月19日から8月5日までの18日間、マラウイ共和国のかんがい事務所職員や大学講師が研修員として本県で技術研修を行いました。

仙台地方振興事務所管内においては、7月21日に農業土木技術を学ぶ現地研修として、東日本大震災の津波や地震で被害を受けた農地海岸の被害状況や復旧工事現場、復興に向けて農地の新たな標準大区画化を行っている工事現場等を見学し、当部職員が説明を行いました。



大区画ほ場整備の説明を受ける様子

研修員の皆さんは、津波による震災の被害状況の大きさに驚くとともに、自国とのかんがい技術や農用地の管理方法の違いを、説明や質問を通じて確認し合いながら学びました。

本県における技術研修を通じて得た農業土木技術や発見を自国で活かすとともに、本研修が宮城県、あるいは日本とマラウイ共和国との交流の一助となることを期待しています。



農地海岸復旧事業の説明を受ける様子

# 『仙台・松島エリア』夏休みお出かけキャラバンを開催しました！ 【地方振興部】

「仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン2016」が7月1日か

ら9月30日まで全県で開催されています。仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会（構成(15市町村と県)：仙台市，塩竈市，名取市，多賀城市，岩沼市，亶理町，山元町，松島町，七ヶ浜町，利府町，大和町，大郷町，富谷町，大衡村，山形県天童市，宮城県仙台地方振興事務所地方振興部）では、「仙台・松島エリア」の家族で楽しめる夏の観光情報発信キャラバンを7月25日に「仙台うみの杜水族館」，7月27日に「JR仙台駅」で開催しました。



うみの杜水族館でのキャラバンの様子

両日とも，人気ご当地キャラクターが登場し，各市町村による「おすすめ夏休みプランPR」などを行って，キャラバンを盛り上げました。県内外から多くの観光客の皆様にご来場いただき，キャラバン限定の観光ガイドブックや各市町村観光パンフレット・特産品のお菓子等の詰め合わせセットをプレゼント（各日400セット）したほか，お子様にはキャラクター缶バッジなどもプレゼントし，大変喜んでいただくことができました。

夏キャンペーン期間中，各地でお祭りやイベント等が開催されるので，ぜひ足をお運びください。



JR仙台駅でのキャラバンの様子

## みんなの森林づくりが進んでいます！ 「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」

【林業振興部】

**東**日本大震災の津波により「白砂青松」と称される

美しい海岸林は，壊滅的な被害を受けました。被害を受けた海岸林は仙台藩当主伊達政宗が潮除須賀松林（しおよけすかまつりん）として造成を始めたものといわれ，代々手入れを続け育てられてきた人工林で，飛砂や塩害，強風や高潮から長い間人々の暮らしを守ってきました。

このかけがえのない海岸林の再生に向け，全国からたくさんの方の協力申出があったことから，宮城県では，NPOや民間団体等と海岸林育成活動に関する協定を結び海岸林再生に協力していただく「みんなの森林づくり活動」を平成25年度から行っています。

仙台地方振興事務所管内では，地域を超えて，企業や団体，NPO等の17団体が「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」の協定を結び，被災した海岸林の再生に積極的に取り組んでいます。



活動の様子

※活動実施団体（平成28年7月まで協定を締結した団体）

- ①名取市海岸林再生の会，公益財団法人オイスカ
- ②公益社団法人宮城県緑化推進委員会
- ③みやぎ森林づくり支援センター
- ④株式会社ジャパンクリーン
- ⑤DCMホームマック株式会社
- ⑥特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト
- ⑦特定非営利活動法人生命と環境保全
- ⑧一般社団法人宮城県造園建設業協会岩沼分会
- ⑨ゆりりん愛護会
- ⑩宮城県土地改良事業団体連合会
- ⑪被災地里山救済・地域性苗木生産ネットワーク
- ⑫特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会
- ⑬クミアイ化学工業株式会社
- ⑭公益社団法人ゴルフ緑化促進会
- ⑮ネットヨタ仙台株式会社
- ⑯宮城電業協会
- ⑰公益財団法人イオン環境財団

# 大規模な栽培ハウスが完成！「松島とまと」を世界へ！

【農業振興部】



↑外観（手前：マキシマファームガラスハウス、奥：サンフレッシュ松島ガラスハウス）

養液栽培用ポット→



**夏**の日差しが眩しい松島の海岸を車で10分程進む

と、田園風景の中にガラス張りの大きな建物が見えてきます。これがマキシマファーム株式会社が同町磯崎地区に建設し、平成28年6月に完成したトマト栽培用ガラスハウスです。

建設には、国庫補助「強い農業づくり交付金」を活用し、トマト栽培の本場であるオランダのハウス技術が導入されました。施設の広さは非常に大きく縦横100m、高さは5m程です。栽培には土を使わない養液栽培が採用され、暖房時に排出される二酸化炭素を利用しトマトの成長を促進させる仕組みが取り入れられています。

マキシマファームは、有限会社サンフレッシュ松島と鉄鋼機械商社の岡谷鋼機株式会社（名古屋市）の共同出資で設立した法人で、トマトの年間生産量320トンを目指しています。また、東南アジアを中心に輸出を行う計画もあります。

マキシマファームの内海正孝代表は「『松島とまと』のブランド名で、東日本大震災の被災地である松島を広くPRしていきたい！」と力強く語っています。

初出荷は9月下旬を見込んでいます。隣接するサンフレッシュ松島のハウスでは直売を行っていますので、松島にお出かけの際に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

## アカガイの稚貝を育成しています。

【水産漁港部】

**築**地市場で高級赤貝としてブランドになっている「関上赤貝」等の仙台湾の赤貝の資源量増加に向けて、赤貝漁をする仙南4地区小型底びき網漁業連絡協議会では、稚貝を育成しています。この取組は震災前から行っていましたが、震災の影響により中断し、昨年3月から取組を再開しています。



袋網に収容した赤貝（袋網交換後）



袋網を交換した後、ロープで固定して再び海へ

今年度も県水産技術総合センターで生産された赤貝の稚貝（大きさ1.6mm）17万個を譲り受け、さらに大きくして放流効果を高めるため、平成28年2月2日に仙台新港で稚貝の育成を開始しております。袋網にリボンに付着した稚貝をいれ、1本のロープに4袋ずつ固定し、丁寧に筏に吊り下げました。その後は1カ月に1回程度、汚れた袋網を交換し、成長等の生育状況を確認していますが、7月21日に確認したところ、稚貝の大きさが16mm程度に成長していました。今後も生育状況の確認を続けた後、仙台湾に放流予定で、赤貝資源量の増加が期待されます。

# 「第1回 季節の食材・物産一押しフェア」が開催されます！

(平成28年9月1日から10月31日まで開催)

【地方振興部】

**多**賀城・七ヶ浜産の新鮮な野菜や魚介類を活用した料理やお菓子、

多賀城市、七ヶ浜町にゆかりのある名称の物産などを地域飲食店などで提供します。

また、異なる3店舗以上のスタンプを5つ集めて応募すると、先着100名に

参加店共通1,000円割引利用券をプレゼントする「スタンプラリー」も実施します。

参加店は27店舗。和食や洋食、寿司や中華料理、特産品など盛りだくさん。

お友達やご家族等をお誘いの上、ぜひ、旬の味覚等をお楽しみください。

詳しくは、参加店や商工会ホームページでご確認ください。



※参加店はこの「のぼり旗」が目印です★

\* 問い合わせ先：多賀城・七ヶ浜地産地消研究会事務局

(多賀城・七ヶ浜商工会)

Tel: 022-365-7830

HP: <http://www.taga7.miyagi-fsci.or.jp/>

# 「仙山交流味祭inせんだい～秋の恵み～」が開催されます！

【地方振興部】

**仙**山交流味祭せんだいネットワークと仙台地方振

興事務所では、仙台地域と山形県村山地域の交流促進

と地産地消の推進を目指して、両地域の旬の特産品を

一堂に集めた産直市「仙山交流味祭inせんだい～秋の

恵み～」を開催します！

食欲の秋にぴったりな美味しい農林水産物が盛りだ

くさん！皆様お誘い合わせの上、お越してください！

\* 日時：平成28年10月4日（火）～5日（水）

※午前10時～午後4時（雨天決行）

※時間は変動する場合があります。

\* 場所：勾当台公園市民広場（仙台市青葉区）

## ◆お問い合わせ◆

\* 仙山交流味祭せんだいネットワーク事務局

(株)サム・コミュニケーションズ内)

Tel: 023-689-9071

\* 宮城県仙台地方振興事務所地方振興部

Tel: 022-275-9114



読者の皆さまからのたくさんの**明るい情報**をお待ちしております！

問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部

TEL: 022-275-9114 FAX: 022-275-0296 E-Mail: [sdsinbk@pref.miyagi.jp](mailto:sdsinbk@pref.miyagi.jp)

(HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>

※次号は平成28年10月下旬発行予定です。